

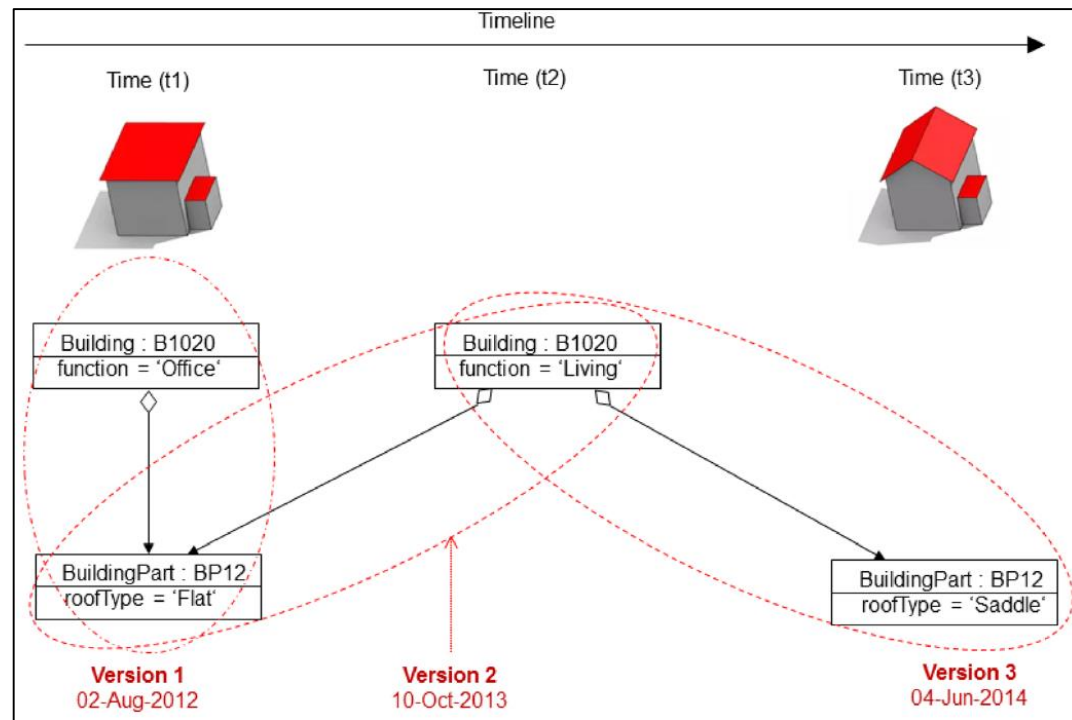
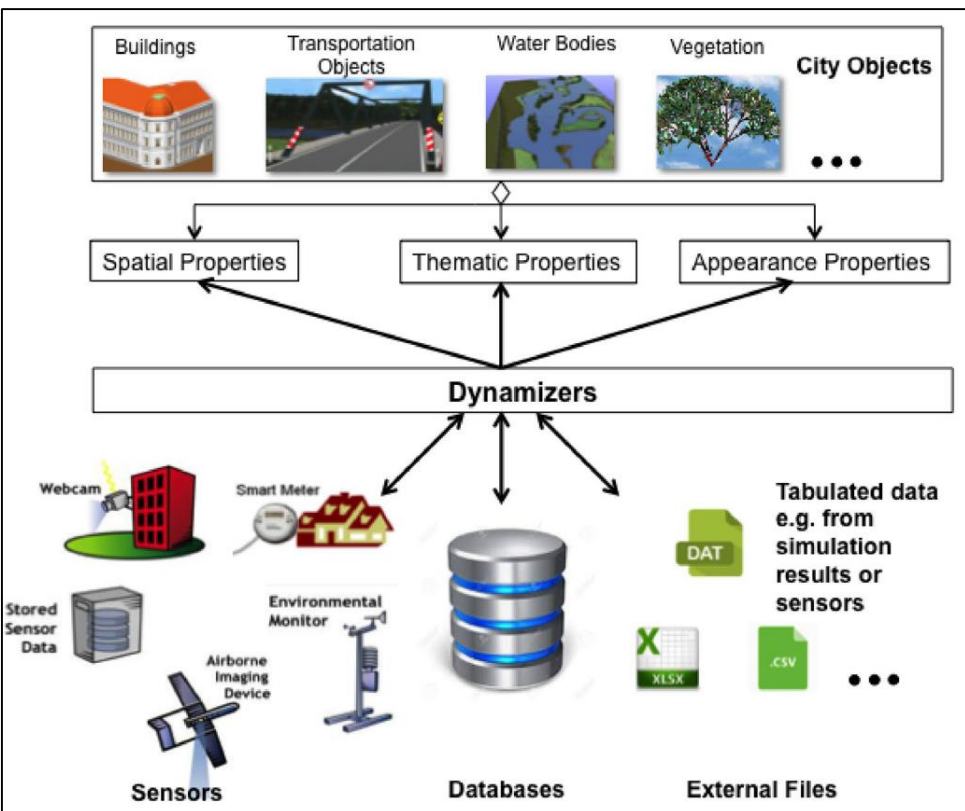
①時間に依存する特性を管理するための2つのモジュールの追加

● Dynamizer モジュール

- ・ 高頻度または動的なオブジェクトの定量的な変化を管理
- ・ センサー情報/シミュレーション結果など動的に変化するデータと3D都市モデルの統合が可能
- ・ 建物の電力消費量、温度や道路の交通量、移動物体の位置の変化を表すことができる

● Versioningモジュール

- ・ より多くの時間が必要となるオブジェクトの定性的な変化を管理
- ・ 都市モデルを複数のバージョンで表現
- ・ 建物の建設や取り壊しなどの都市の発展の変遷を表すことができる



出典 : CityGML 3.0: New Functions Open Up New Applications

②点群データによる都市オブジェクト表現の追加

● PointCloudモジュール

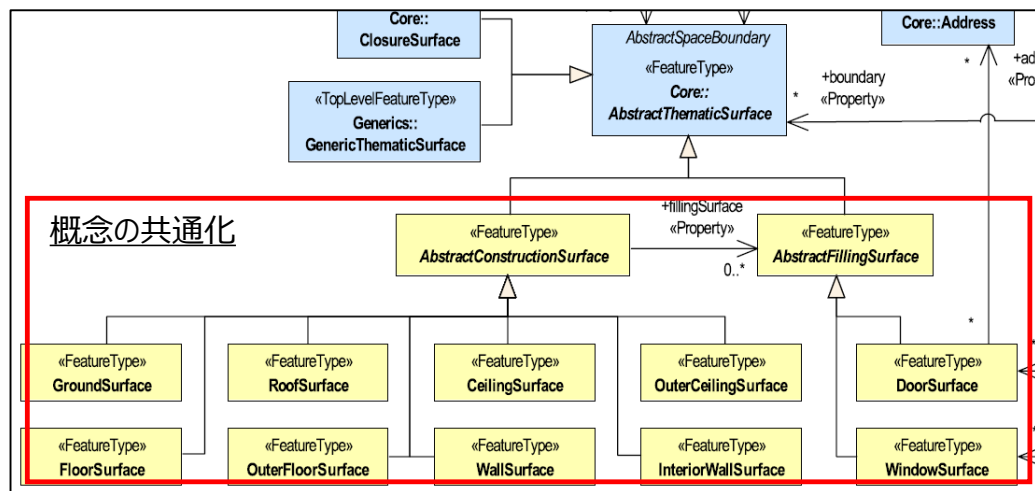
- ・レーザスキャナーで取得した3D点群データから直接都市モデルを作成可能
- ・建物外観などを点群データだけで表わすことができる



③人工建造物の共通概念の追加

● Constructionモジュール

- ・CityGML ver.2.0の建物、橋梁及びトンネルの各モジュールで個別に定義されていた概念を統合
- ・建物/橋梁/トンネル以外の建造物も表現可能
- ・BIMの標準データモデルIFCとの親和性あり



出典 : CityGML 3.0: New Functions Open Up New Applications

④LOD (Level of Detail) 概念の見直し

- ・オブジェクトの内部を表したLOD4が廃止され、屋内/屋外ともに共通のLOD (LOD0~ LOD3) の考え方を採用
- ・建物の外壁と、建物内の部屋をそれぞれLOD1で表わすことができる

